

## C-130H輸送機 第77期機上整備員課程 卒業式



6月10日(火)付けでC-130H輸送機の第77期機上整備員課程を卒業した第401飛行隊、大船3曹及び白石3曹です。

機上整備員の業務は、航空機の重量から離着陸に必要な距離や速度の算出、機体の照明や計器に電力を供給する電気系統の操作、飛行中に機体に付着する氷を溶かす防氷系統の操作及び、各燃料タンク間での燃料量の偏りが大きくなるように調整等を実施する事です。また、地上、上空問わず航空機にトラブルが発生した際にはクルーと協力して故障原因の特定、対処及びフライトを継続するかどうかパイロットの判断材料となるように助言を行ったりします。

本課程で航空機のシステム概要、飛行前点検、フライト時のスイッチ操作について学んでいく中で、一番大変だったのは航空機にトラブルが発生した際にTO(技術指令書)及び資料を用いて故障原因を特定し対処することでした。航空機のシステムが複雑で適切な対処までに時間がかかってしまうということもありましたが、訓練を実施していく中で、徐々に正確かつ迅速に対処できるようになりました。また機上整備員の席が機長、副操縦士2名の席の真ん中後方にあるため、非常に見晴らしが良く、シミュレーター訓練を合格し初フライトで見た景色は今まで見たことがないくらい感動的な景色でした。機上整備員という職種は航空機システム全般を理解し、必要な装置の操作をしつつ、時には緊急時に対処するといった大変な業務ではありますが、この職種でしか味わえないやりがいと景色が待っていると感じています。



## 防衛・基地モニター小牧基地研修

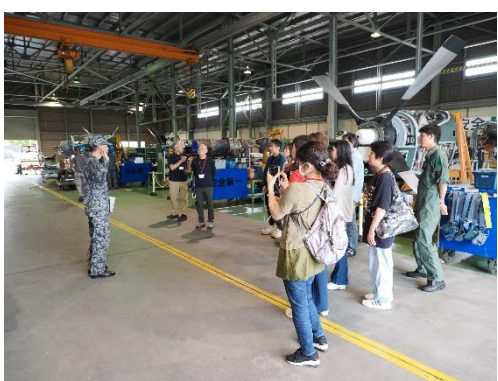
6月23日(月)防衛・基地モニターによる令和7年度小牧基地研修を行いました。

今年度初のモニター研修は、第1輸送航空隊飛行群及び整備補給群を研修しました。本研修を通じ、輸送機等の運用、整備に係る職種及び機能を紹介し、航空輸送及び空中給油並びに当該航空機の整備業務について詳しく学びました。

モニターさんの中には、これまで航空祭等の基地開放行事において小牧基地を何度も訪れた事のある方もおりますが、飛行隊による輸送機の詳細な任務の説明及びK/C-130HとKC-767の性能を聞いて大変驚いておりました。特に普段は中に入ることのできない航空機のcockpitや航空機整備作業場において、実際に勤務している隊員の姿を直に見て、仕事に対して細部にわたる注意と地道な作業を目の当たりにして大変感心しておりました。

また、航空機の運用のため各職種に必要なスキルを身につけるため、日々の努力や訓練、現場での指導が欠かせないことも知って頂く事が出来ました。各見学場所ではそれぞれの隊員が笑顔で説明する姿も親しみやすく、質問には丁寧に答えている姿が自身の職務に誇りをもっていることの現れと感じて頂けたと思えます。

本研修を通じて、第1輸送航空隊飛行群及び整備補給群の任務の重要性とその裏側には多くの支えがあることを理解して頂けたことと思います。今後も基地に所在する他部隊の研修に参加してもらい、より深く小牧基地を理解して頂ければと思います。



## 菅島 野外行動訓練

6月27日(金)、28日(土)第1輸送航空隊は三重県鳥羽市の菅島にて野外行動訓練を実施しました。

菅島は昭和58年に第1輸送航空隊所属のC-1輸送機が墜落した場所であり、本訓練の目的は菅島航空機事故の教訓等についての認識を深めるとともに、使命感の醸成及び安全意識の高揚を図り、航空機事故の風化防止に資することです。参加者は先発隊を含めた42名で、道中の清掃をしつつ墜落現場の山の中腹にある慰霊碑を目指しました。

日頃から島民の皆様のご厚意により、慰霊碑及びその周辺は綺麗な状態に整備・管理をしていますが、到着後は訓練隊全員で事故や殉職者に思いをはせながら慰霊碑周辺の清掃をしたのち、黙祷を捧げました。

また、徒歩行進終了後、菅島町内会の方々に当時の状況についてお話を伺い、菅島での事故に対する理解を深めるとともに、このような事故を二度と起こしてはいけないという強い決意を各々が抱くことができました。

